

## 第1回 狛江市民センター改修基本設計及び狛江市新図書館整備基本設計 市民説明会（概要）

- 1 日時 令和5年6月1日（木）午後6時～8時
- 2 場所 狛江市役所特別会議室
- 3 出席者 参加者 39人  
狛江市  
企画財政部長 高橋 良典 政策室長 富田 泰  
総務部長 田部井 則人 施設課長 岩渕 一夫  
教育部長 波瀬 公一 教育部調整担当理事 上田 智弘  
公民館長 浅井 信治  
図書館長 細川 浩光  
（株）岡田新一設計事務所 柳瀬 寛夫、小林 信策

### 4 議題

- (1) 開会
- (2) 事務局紹介
- (3) 市民センター改修基本設計について
- (4) 新図書館整備基本設計について
- (5) 質疑応答
- (6) 閉会

### 5 配付資料

- (1) 市民センター改修基本設計・新図書館整備基本設計 スライド

### 6 説明会内容

- (1) 開会
- (2) 事務局紹介
- (3) 市民センター改修基本設計について  
公民館、(株)岡田新一設計事務所より説明
- (4) 新図書館整備基本設計について  
図書館、(株)岡田新一設計事務所より説明
- (5) 質疑応答

#### 【参加者】

4ページ目の下部に「見通しの改善」とあるが、これは今ある大きな木を伐るとのことか。

#### 【施設課長】

現在市民センター前の一段上がった所に大きな木（クロガネモチ）があり、その周りに背の高いツツジが植わっていることから非常に見通しが悪かったり、そ

の周辺に自転車を駐輪されたりするため、まずはツツジ等を撤去し、もう少しフラットな形にして、見通しを良くする計画。建物前に作るデッキとの繋がりも考慮する。こうしたことを実施設計の中で工夫していきたいと考えている。

**【参加者】**

大きな木は伐らないということか。

**【施設課長】**

伐らない。

**【参加者】**

昨年の基本構想の説明会に参加し、図書館の分割移転を撤回してほしいと言った。パブリックコメントも出したが、1番納得がいかないのが、なぜ市長が直接会って、私たちの意見を聞かないのかということだ。

今回の基本設計の説明会も、事務局しか出てきていない。なぜ市民提案書で合意した図書館建設の案をひっくり返して、移転して分割することを前提条件に変えたのか。今回市長が来て、説明してもらえと思っていたが、どうなのか。

**【政策室長】**

施設整備の説明会は、他の工事についての説明会同様、我々市の職員が市長の補助職員として説明会に出席し、担当部署として説明している。理解いただきたい。

**【参加者】**

市民と直接会ってはいけないという決まりでもあるのか。市民との面会を拒否して、4,200筆を越える署名も提出して聞いてほしいと言っているのに応じてもらえない。そんな決まりがある訳がない。納得がいかない。これだけの大規模なことをするのだから、きちんと市民に向き合してほしい。市民参加と市民協働条例にも変更する場合も市民参加をしなければならないと書いてある。市民が粕江の文化を良くしようとしてこのような案が良いと言っているのに、市長がそれに答えないのはおかしい。

**【政策室長】**

市民の声を聞かないというお話だが、市民センターは築40年目の老朽化対応で平成27年に改修予定であった。説明会をする中で利用者から、拡充を求める声があり、議会でも陳情が採択されたことで、当初の計画から立ち止まって、考えることにした。

その後、市民センターを考える会から提案をいただいている。それも踏まえ、いくつかのパターンで財政負担等のことも考慮して検討し、市民アンケート等を行った。そういう中で、総合的に考えてこの方針を示したところである。

元々の40年目に改修工事を行う方が財政的には負担も少ないが、皆様の思い

をどういう形で叶えられるか市としても検討した上でお示しした。

#### 【参加者】

市民提案書は、図書館、公民館を充実させていこうと、市民と協働で、市も関わってまとめたものだ。それに基づいて市も委託業者に設計を委託し、市民アンケートも2020年の2月から3月にかけて取った。いずれも市民センターの増改築という方向で充実させていこうということで行ってきた。我々はそう思っていた。

それが、2020年の8月に庁議決定だと言って、基本方針で図書館は分割するとなった。しかも、今までのことを踏まえてこの基本方針を出したと言っているが、これまでの市民との関係を蹴飛ばしてこの基本方針を出したとしか言いようがない。市民提案書を踏まえて、この基本方針が作られたということを引きちんと説明してほしい。

最大の問題は、図書館の分割である。ご存知のように、今の図書館の面積からほとんど増えず、フリースペースはない。新しい図書館はぎゅうぎゅう詰めで、イベントもできない、庭もない。今どこでも図書館を作るというのは、滞在型図書館にしていくことが皆の願いである。

最大の問題は、ここには児童図書がない。分割されている。雑誌もない。全て市民センター側にあるということだ。なぜ今回のような分割移転をするという方針になったのか引きちんと説明してほしい。

#### 【政策室長】

現在の場所で拡充との提案をいただいた。それを踏まえていくつかのパターンで検討した。増改築した場合はかなり負担が大きくなる。市の財政状況や、社会保障費、災害対策という行政課題を踏まえて、市として総合的に検討しなければならない。市民アンケートでも財政負担の抑制について多く意見をいただいた。

一方で、図書館の充実についても多く意見をいただいている。そうした中で、当初の老朽化対応だけではなく、拡充したいという思いの中から、提案いただいた規模には足りないが、現状よりも充実を図れるような形を示させていただいた。

また、その移転先についても、市の中心部で一定のスペースがあれば、選択肢が広がったかもしれない。しかし、一定のスペースがない中で当初の計画予定よりも遅れ、排水設備などもかなり老朽化しており、早急に対応しなければいけないというところで、このような検討結果として示させていただいた。

そういう限られたスペースの中ではあるが、検討委員会やワークショップの中で検討していただいた内容を踏まえ、市民センターについては、児童図書コーナーを中心にということになった。新設図書館や地域センター図書室等も含めて一体的な図書サービスを示させていただいた。

#### 【参加者】

教育委員会で経過の説明などを聞いた時に、他の地域の図書館を視察もして検

討したと仰っていたが、児童と大人の部分と分割されている図書館があるのか。成功事例はあるのか。

そういうことがなければ、やはり立ち戻って考え直すべきだ。残念なものを作ってしまったらとてももったいないと思う。他の所とも比べて、今出している計画が本当に良いと自信を持って言えるのか。

**【図書館長】**

視察したのは、江戸川区の篠崎図書館。元々は一般書と児童書があったが、それが分かれて現在ある形となっている。子ども図書館は、子どもが伸び伸びと読め、一般書を所蔵する図書館は、静謐な場所で読めるという話は聞いている。

今の形が一概に悪いという訳ではなく、315mとそれほど離れていないので、予約システム等も活用すれば使い方次第で図書館施設が2か所に増えることでサービスも良くなると考える。

**【参加者】**

篠崎図書館と篠崎子ども図書館の距離はどのくらい離れているのか。

**【図書館長】**

315m以上は離れている。徒歩10分以上かかる。

**【参加者】**

篠崎は中央館か。

**【図書館長】**

篠崎図書館は中央館ではない。

**【参加者】**

先ほど、色々なことを検討して図書館を2つに分けたというお答えがあったが、全く答えになっていないと思う。日建設計が市民提案書を基に作成した案の中には、公民館部分を分けるという案はあったが、図書館を2つに分割するという案は全く出ていなかった。市民にアンケートで、どういう改築、増築の方法が良いかを聞いた際、お金の面があるからメンテナンスだけで良いと答えた方と全面改築が良いと答えた方のパーセンテージは1%しか差がない。それにもかかわらず、それ以降、改築の案がなくなっている。

案にもあった公民館の機能を一部分けるということではなく、なぜ図書館を2つに分けたのか、誰がそれを決めたのか、なぜそれが良いと思ったのか、私たちはそれを伺わないとやはり納得できない。

その時の見積もりで17億円、今だったらもっとかかるかもしれない。市民が使う施設なので、やはり理由が分からなければ、皆さんも税金の使い方として納得できないのではないか。

**【政策室長】**

反対のご意見があることは、市としても認識している。市議会でも、そういう意見をいただいているが、市としては考え方を示し、市民の皆様の代表である議会においても、この基本構想の内容で、実施設計を進める予算の議決をいただいている。我々としては、多くの市民の方から了解いただいているこの方向性で進めさせていただいている。

**【参加者】**

では、なぜ、図書館を2つに分けたかについては答えないのか。

**【政策室長】**

先ほども申し上げたが、築40年の建物で、増改築や新築をすると、財政負担がかなり大きくなってしまおうという中で、市として機能の拡充を検討した結果、最終的に今お示ししている案とさせていただいた。

**【参加者】**

先ほど政策室長が、市議会でこれが承認されたからとお話されたが、私は市議会議員が自分の役目を果たしていないと思う。行政が間違っただけをしているのに、市議会議員がそれを正さないのはおかしい。市民参加と協働条例に則って進めているのか。議会議事録を3年分読んだが、政策室長も、市長も答えていない。

平井議員や松崎議員、共産党の議員、特に鈴木議員が基本条例違反なのではないかとしつこく聞いているが、答えていない。

市民の声を聞きましたと言うが、2020年にあったアンケートの中には、6個か7個案があったが、図書館を分割するという提案はない。

「市民センターを考える市民の会（以下「市民の会」）」が出した、CLT工法の縦方向の増築案が提案の中でも1番良い。工期が10か月と1番短く、単価は20億円で下から2番目、既存部分を使いながら建築が可能、補助金も出る、CLT工法のこの構造は話題になるとちゃんと書いている。

共産党の議員が、300万円から500万円ぐらいかけてこれが本当に20億円でできて、構造上もしっかりしているということを検討してほしいと言ったら、誰かが却下した。20億という数字は、この6件ぐらい出てる案の中でも下から2番目で工期も非常に短い。これを1,500万円ぐらいかけて事業者を検討してもらった。そのお金を使ってなぜしなかったのか。なぜ分割するという案を隠してアンケートをしているのか。市民の意見を聞いた市議会議員がそういう問題をチェックしないで、予算でこれをすることを決定してしまう。こんなことは納得できない。

**【参加者】**

市民からの提案が20億円で下から2番目の金額で、なぜ再度検討させなかったのか。300万円から500万円でやりますよと言っている。それを検討させて、

アンケートを取って、こんな風な結果になりましたって言えば良い。ところが、アンケート結果の中に載っているが、アンケートの8番目の質問で、ネガティブキャンペーンを張っている。

アンケートを取る前に、それはやりませんともう何か月も前に却下している。市議会の議事録を見てほしい。

問8はこのように書いてある。

「市民の会が提案する問6の7番の案は、その実現性が保証されていません。改めて、この案の実現性を調査した場合、約500万円の追加費用がかかるこのことですが、改めて調査をした方が良いと思いますか。」

もう自分たちでやらないということを決定しているにもかかわらず、その実現性は保証されていませんなんて質問に書く。これはアンケートの方法が間違っている。誘導質問である。このアンケートの中には図書館を分割するなんて一言も書いていない。市民の会とも話したと言っているが、こんなのは嘘である。市が自分で作った基本条例を守らないで、基本構想を進めているのは断固反対である。

#### 【参加者】

市民の会からずっと関わってきたので、今のお話も踏まえて、アンケートの取り方は、私たち市民の会としても、歓迎される内容ではないが、市民アンケートを行い、これまで市民の会が提案をしてきたものを一応アンケートの選択肢に入れたということについては、市も一定は分かってくれたのかなという風に思うところはあった。

問題は、そのアンケートの結果から、市民センター改修等基本方針が取りまとめられたところの中身が全く分からないことだ。なぜそのようなものが出てきたのか。それを市議会で求めても説明がない。多分、今ここにいる方は説明できないのだと思う。上の方で決まったということだと思う。

しかし、市民参加と市民協働の条例をしっかりと踏まえてないことが1番の問題になっているので、そこを検証して、立ち戻る必要があるということが繰り返し出てきている。

1番の問題は、繰り返し言われているように、図書館の分割移転である。分割移転は、子どもと大人の本が分かれることで良くなるという風な話だが、それは聞いたことがないし、逆に困るという話を多く聞いている。

本来ある形としては、予算の制約や老朽化を全部踏まえた上で、市民センターに図書館を充実させて、公民館もさらに充実させたいというところがあれば駄倉の新しい施設にそれを入れる、まず現地で図書館を充実させるという、これは本当に市民から多く寄せられている声だと思う。だから、予算規模も現状と同じで良いので、そこを基本にした計画をもう1つ作って、市民の皆さんに、どちらが良いですかと聞いて決めてもらったら良いと思う。

市民アンケートのところまでは、周りにも聞いてきたが、ここの基本方針になるところが、すごく訳が分からなくなっている。市民の声を聞いていないという風に言わないと、もうそれ以上に言いようがない。図書館を現地で充実させる案

を示して、それで、市民に意見を聞くということを、是非やってほしい。

**【政策室長】**

もうすでに市議会の方からも議決をいただいた中で進めているので、今立ち止まって、改めてということは考えていない。そういう意見もある中でもできるだけ充実を図るよう、ワークショップや検討委員会で検討していただいたところを踏まえて、具体的に基本設計をお示ししている。実際に利用している皆様から設計に関するご意見をいただければ、今後実施設計を進めるにあたって参考にさせていただきたい。

**【参加者】**

新設図書館は ZEB Ready と言われたが、フル ZEB にはできない理由はなぜか。

**【施設課長】**

ZEB は4段階あるが、国土交通省では官庁施設を新築する場合は、原則 ZEB Oriented 相当以上とするとしており、東京都でも公共施設の改築等の場合には ZEB 化を目指すとして ZEB Oriented や ZEB Ready を目指すとしている。フル ZEB はレベルが高いため、今回は新築の新設図書館については ZEB Ready に、改修の市民センターについては、ZEB Oriented 相当を目指すこととし、30%削減を目指すというところで、方針を決めたところである。

**【参加者】**

何回もこういう説明会があったが、その都度とおり一遍の説明はした、意見は聞いたということで、変わらないのが今までの説明会の形だと改めて思っている。

それからアンケートを取って市民の声を聞いたとさっきから何回も言っているが、実際に図書館を利用している人や市民センターを利用している団体に個別に聞いたのか。つい最近も市役所の前でチラシを配布した。未だに知らなかったという方がいらっしゃる。そういうことをご存知なのか。市民をないがしろにしたこんな計画はないと思う。

あと、公民館のホールを利用したくてもジャンケンで当たらなかったりする。その中で図書館の分割が出てきて、いわゆる玉突き式で色々と内容が動いて、市民センターの改築を通じて新しい図書館が作られる。以前私は、なぜ市民活動支援センターが市民センターに入るのか、今でも狭くて使いにくい市民センターに市民活動支援センターを入れたのかと言ったが、今日の説明を聞いても分からなかった。それと、図書館問題は検討委員会が設けられて市民の意見を聞く、とにかく良いものを作ろうということでした。関わった方もいらっしゃるので発言してほしい。最終的にこういう分割というのはなんなんだと思う。先ほどから皆聞いているが、答えられないということなのか。

**【企画財政部長】**

色々意見いただき感謝申し上げます。分割するというところで納得いかない市民の方が大勢いらっしゃることはこちらとしても承知している。しかし、今の現状の図書館で、お子さんが騒いで注意をされて嫌な思いをされた方がいるのも事実である。

そういう中で、市民参加という部分で足りていない部分もあるかもしれないが、市としては、改修等の方針ということで図書館と公民館の充実が図れるように考えたのが、改修等基本方針である。

その方針を基に、市民参加の下、市民センター、新図書館の基本構想、ワークショップに協力いただき、また、それ以外の利用団体等にもアンケートを取ったところである。

そういう意見を踏まえて、基本構想をまとめた。その基本構想に基づき、施設をどういう風にしていくか、より皆さんが使いやすく、今までよりも充実できるような施設とすることができるよう、建物の基本設計を行っている中において、新たに建てる新設図書館については、基本設計で決まっていくので図書の配置等利用される市民の皆さんがどう思われるか、そういう意見をいただく説明会を本日は開催している。

確かに、納得いかない部分もあるかと思うが、こういう形でも、先ほども説明があったように、図書館部分としても、今の図書館よりは広くなる。電子図書館もこれからも進めていくつもりであるため、そういうところでの充実も図れると思う。予約等が直接機械的にできるコーナーなど利便性の充実も図っていきたいと思っているので、基本設計に向けて、新たにこういうことを取り組んでほしいとか、こういうところは問題じゃないかというような意見いただければ大変助かる。よろしく願いたい。

#### 【参加者】

先ほどから、図書館、公民館の話が出ている。私は賛成でも反対でもないが、市民の方、市職員の方が一生懸命考えながら、その案を作成してきたのだと思う。その苦労を経て、今ここまでたどりついていると思うので、これがいけない、あれがいけない等、皆さんの意見はあるとは思いますが、このできた案で進めていけば良いのかなと思う。ただ、先ほどから、商工会の話が全く抜けている。商工会館を公民館や図書館と一部一緒にする訳にはいかないもので、3つの場所があって初めて、成り立ってくるのではないかなと思う。その辺も考えていただいて、この案が出てきているのだと思う。

色々な意見はあると思うが、これからも良いところ、悪いところ出てくると思う。それでも、皆さんが時間を使って、ここまで進んできてくると思うので、皆さんの意見が極力反映される、そんな図書館や公民館、商工会館だと良いと思う。

#### 【参加者】

現在の公民館では自転車でいらっしゃる利用者の方が多いが、ウッドデッキになる所に自転車を停めている。相当数の自転車が来ることになると思うが、どのように対応するのか。



また、ウッドデッキはとても素敵だが、5年もすると防腐処理をしても傷み手入れが結構大変だと思うがいかがか。

2階のオープンテラスも床はどのような素材になるのか。そこで走り回ると、マンションや団地でも上の階の足音が気になる方もいると思うが、2階のオープンテラスの下は保育室となっている。騒音振動があるので走るな、騒ぐなというのも個人的には好きではないので、その辺はどうなのか。

#### 【施設課長】

駐輪の問題だが、確かに駐輪台数が非常に多い状況である。最終的な結論は出していないが、庁舎管理部署と調整している。また、ウッドデッキだが、市の他の施設でもプラスチックを混ぜたエコウッドというものがあり、これはほとんど腐食しないで済む。ラゾーナ川崎や狛江第二中学校もエコウッドを使用している。多少の退色はあるが、傷んではない。もちろん、耐用年数はあるが、5年や10年で腐ることはないため、そうした素材を使っていくことを検討したい。

オープンテラスは静かに使っていただくので、同様の形態で音が気になるということは余り聞いたことがない。

#### 【設計事務所】

下にクッション材を引くので、そこでかなり音や振動が軽減できる。

#### 【参加者】

先ほど、図書館を分割する理由として、子どもが騒いでうるさいと言われるからという風に仰っていた。どこの図書館も、それは、同じ場所でレイアウトを変えて対応している。例えば、今回のように子どもの部分をリースペースを挟んだ反対側に持っていけば、この問題は解決するし、階を分けるとか普通はそういう形で解決している。

それで、先ほど図書館長から大人の図書館と子どもの図書館が分かれている例が出されたが、それは探すのが苦労するぐらい少なく、普通の図書館はどこも大人と子どもの図書館が一緒になっている。

分割で問題なのは、今よりもお金をかけるのに、サービスが低下するということだ。大人と子どもが分割するだけでなく、新館で大人のサービスをすると言いながら、その資料のうちの新聞と雑誌は市民センターに置くので、大人が両方利用しようとする2か所に行かなければならない。

新しいものができても、今よりサービスが低下することが目に見えている。税金の無駄遣いだと思う。

現在地で充実を図る。「日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社」の中にもそういう案があったが、やむを得ない場合は公民館部分に移していた。図書館を分割する理由は非常に弱い。図書館が本来一緒になっていれば、誰にとっても利用しやすい図書館と言いながら、わざわざ不便な形に作る。やはり基本に立ち返って、現在地の充実も含めて是非検討していただきたい。

**【参加者】**

なぜこの基本計画や基本方針が突然決まったのか。市長が判断してということある部長が仰った。だから、これはもう基本の考え方になったのだと思う。返事をいただかなくて良いが、この図書館がおよそ2年間使用できなくなることは、どのくらい市民の方たちに周知しているのか。私は知らなかったという方が必ず出てくる。

**【参加者】**

図書館の運営はどうか。図書館は正規職員で運営するのか。長期的展望を教えてください。

**【図書館長】**

直営で、職員は正規職員を基本に考えている。

**【参加者】**

今回出てきているプリントで解消した面もあるが、構想で決められた冊数が果たしてこれで入るのか私なりに計算をしてみたが入らないなと思った。私の計算では14%ほど減るという結果になった。色々な計算方法があるにしても、きつきに本を詰められてやっこの構想の数に達するのかもしれないという状況ではないかと思う。そして、1番大切な、市民に見える開架の本の割合だが、私の計算では大体40%となり、市民に見える本が少ないなという印象だ。

それから、9ページの図を見ると2階のスペースに本を見るための椅子や各種の機器、これは検索機やコピー、拡大鏡の機械、データベース、ブックトラック等が入っていく訳だが、この2階の図と、10ページの図を見ると、かなりきつい配置であると私には見える。

それから、機器や椅子を入れた場合もかなりきついに私には見えるが、そのように思わないか。

**【設計事務所】**

検索する機器は、例えば2階で見いただくと、現在でも何か所があるが柱をなくせばもう一つ増える。他にもスペースはあるので使い勝手を向上させる機器の配置は、今後も検討を進めたい。

**【参加者】**

少し本を開けて見る姿というのは、今の図書館でも良く見られる。机まで使わないが、少し見るようなそういう椅子の配置も出てくると思う。そういうものを入れると、本棚もきついし、その他の色々なスペースもきつい設計に見える。

**【設計事務所】**

2階の模型をご覧いただきたい。1番手前は少し書架を下げており、この辺りは今仰ったような、拾い読みをする場所にできないかなど色々検討中である。

仰るように、大変余裕がある訳ではないので、無駄のないスペースの使い方を検討したいと思う。

#### 【参加者】

この計画が広報に出されたのは2020年9月。その4年前の2016年に、市民の計画も提案されている。4年間ずっと放っておいて、市民には何もなく、突然に出された。その後の説明会から参加しているが、お金がないから全面的な建て替えもできない。市民がそういう要求をしなくても将来的には、市役所も含め、市民センターとまとめて建物全体を新しい建物に建て替える。それまで、その基本計画のとおり進めていくという説明をされていて、それを新しくするまでに、私の記憶では、20年間という説明だったように思う。

新設図書館を20年以上使うことは無駄なような感じがした。なぜなら20年間、私たちは目指す図書館を使えないからだ。20年間、我慢して使わなくてはならない図書館に税金を使うのは、無駄ではないかと思う。

なぜ分けて作るんですかと質問したら、アドバイザーみたいな人が色々な自治体がありますからと回答していた。自治体のやり方は色々あるかもしれないが、このようなどころはあるか、そういう実態はあるかと質問したら、色々ありますからと回答された。具体的に、こういうところでこうしてますという返事がなかった記憶がある。

だから、20年間我慢して使うことは、市民が納得するのかなと思う。だから、もし作るのなら、本当に原点に立ち返ってしてほしいと思う。

子どもたちや孫たちに誇れるような中央図書館、市民センターを残してあげたい。本当にもう少し真剣になってこのことを考えてほしい。お金のことは国からも出るので、大きな施設を作る時は、小さい市だからお金がないと言って我慢させないでほしい。私たちも税金を払っている。利益を得る権利はあるはずだ。学習の場としての図書館を与えられて良いはず。もう少し市民のことを考えてほしい。

#### 【施設課長】

新設図書館は新築のため、長く使用できる。市民センターは、改修が完了する令和7年度で築48年経過となる。20年ぐらい経つと、設備等また大規模な改修をしなければならない。20年経つと、築70年近いので、普通の建物の耐用年数で考えれば改築を検討する時期ということで、タイミング的には、もう1回大規模な改修をするのか、改築するのか検討する時期であることから、概ね20年使用すると説明している。

#### (6) 閉会

以上